クボタトラクタ

取扱説明書

GT 21・23・26・30
キュービックボックス

（ドア・エアコン付き）

F-10597

安全宣言
安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は，GT21・23・26・30キュービックボックス(ドア・エアコン付き)機について，特に異なる部分の取扱方法，簡単な点検および手入れについて説明してありますのでその他の説明については，別冊の取扱説明書をご覧ください。(別冊と異なる部分は，必ずこの取扱説明書を優先してご活用ください。)
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が秀れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **警 告**： 注意事項を守らないと，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注 意**： 注意事項を守らないと，けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要： 注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足： その他，使用上役立つ補足説明を示します。

キュービックボックス装備品の取扱い

ドア・窓の開閉とロック

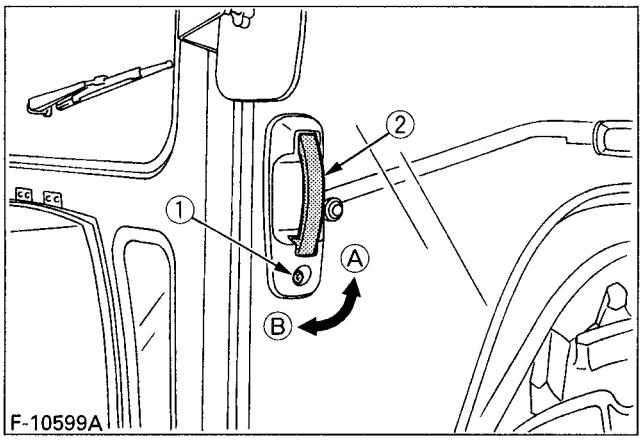
注　意

＊リヤウインド後方で作業機を着脱・調整する場合は，リヤウインドの開閉に注意してください。（開放時頭などを打つおそれがあります。）
＊ガラスを破損させるおそれがありますのでキュービックボックス内には物を載せないでください。
＊ガラスの取扱いはていねいに行なってください。

■ドア

◆ドアの開閉とロック

車外から……キーを回すと**“施錠”** **“解錠”**されます。
ドアアウタハンドルを引き，開けます。

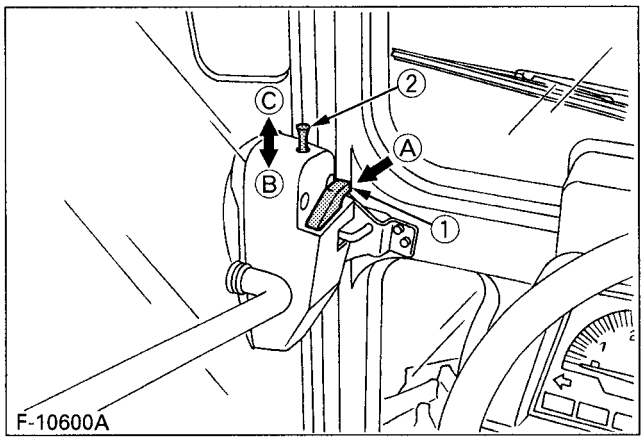


①ドアキー　　Ⓐ “施錠”
②ドアアウタハンドル　　Ⓑ “解錠”

補　足

＊ドアキーとトラクタの始動キーは異なります。
ドアの開閉には専用のドアキーをご使用ください。

車内から……ロックノブを下げると**“旋錠”**，上げると**“解錠”**されます。
インナーハンドルを引き，開けます。



①ドアインナーハンドル　　Ⓐ “開く”
②ロックノブ　　Ⓑ “施錠”
Ⓒ “解錠”

補　足

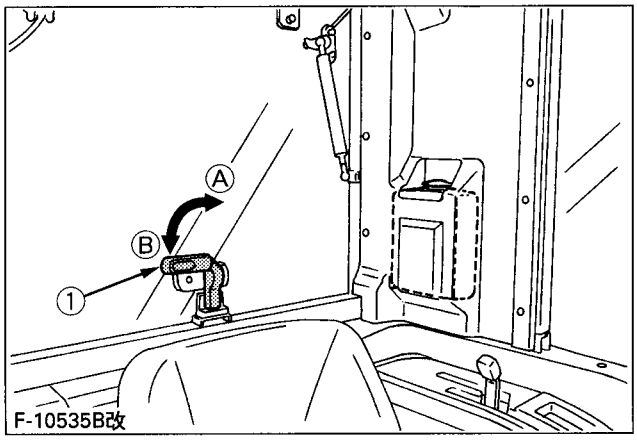
＊ドアにぶらさがったり，作動範囲以上に無理に押し開かないでください。

■リヤウインド

注 意

＊ガラスの取扱いは，ていねいに行なってください。
＊作業機を取付けた場合の開閉は，特に作業機上昇時，安全を確認してから行なってください。(強化ガラスを使用していますが，作業機の鋭角部との接触はガラスの性質上破損につながります。)
＊リヤウインド後方で作業機を着脱・調整する場合は，リヤウインドの開閉に注意してください。(解放時頭などを打つおそれがあります。)

リヤウインドハンドルを時計方向に回し，そのまま押すと，ダンパの作用で自動的に開きます。



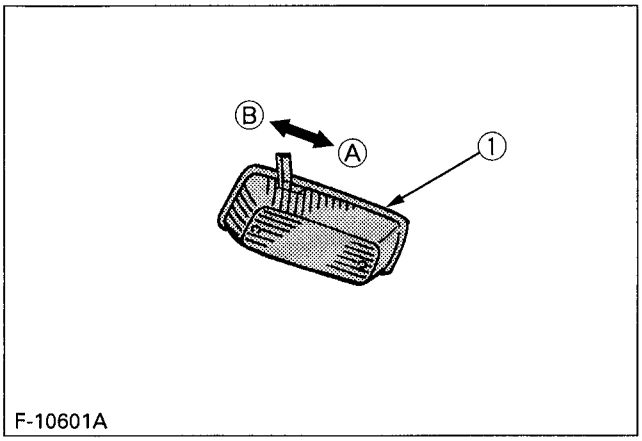
①リヤウインドハンドル　　Ⓐ “開”
Ⓑ “閉”

重 要

＊作業機によってはリヤウインドの開閉ができない場合がありますので，開閉するときには十分確認して行なってください。
＊リヤウインドを開放したままで，高速走行や悪路走行をしないでください。

■ルームランプ

ルームランプのスイッチを左右方向にスライドさせることにより，スイッチが作動します。
“OFF” … 常時消灯。(Ⓑ方向)
“ON” …… ランプが点灯します。(Ⓐ方向)



①ルームランプ　　Ⓐ “ON”
Ⓑ “OFF”

ワイパ

■フロント・リヤワイパスイッチ

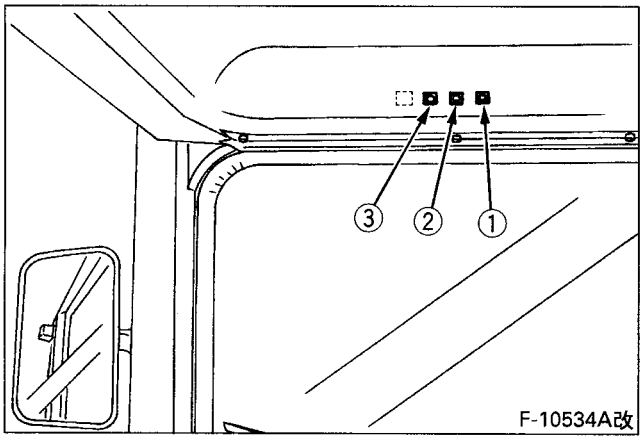
キースイッチを**“入”**にして，各ワイパスイッチを押すと，ワイパが作動します。再度スイッチを押すと，ワイパが規定の位置で作動を停止します。

■ウォッシャスイッチ

キースイッチを**“入”**にして，ウォッシャスイッチを押すと，押している間フロントとリヤガラスにウォッシャ液が噴射します。

重 要

＊からぶきはガラスやワイパゴムを傷つけることがあります。必ずウォッシャ液を噴射してからワイパを作動させてください。

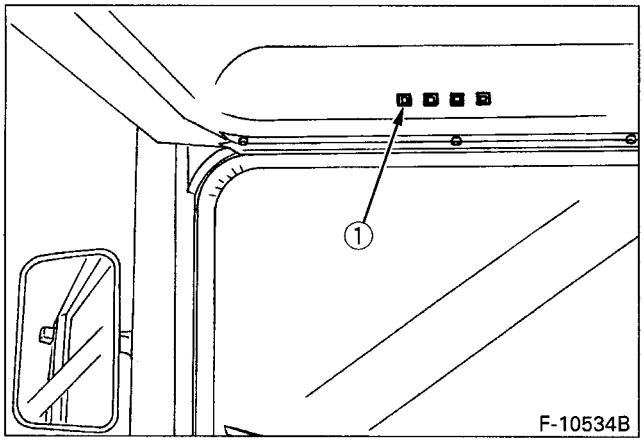


①フロントワイパスイッチ
②ウォッシャスイッチ
③リヤワイパスイッチ

作業灯(後)（オプション）

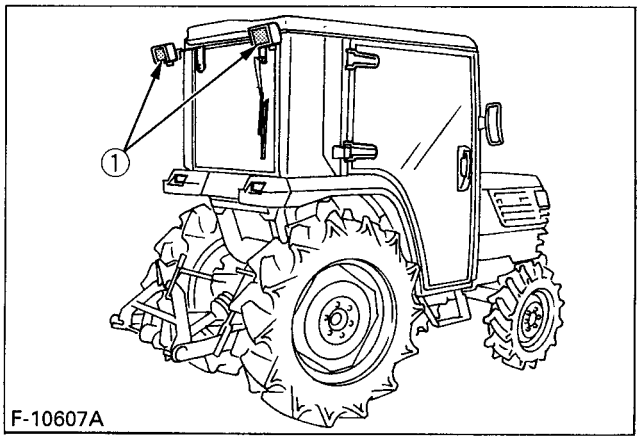
■作業灯スイッチ

キースイッチを**“入”**にして，作業灯スイッチを押すと作業灯が点灯します。
再度スイッチを押すと，消灯します。



①作業灯スイッチ

■作業灯



①作業灯

重 要

＊バッテリがあがりますので，作業灯・ヘッドランプなど電装品を使用する場合は，エンジン回転を1600rpm以上にしてください。

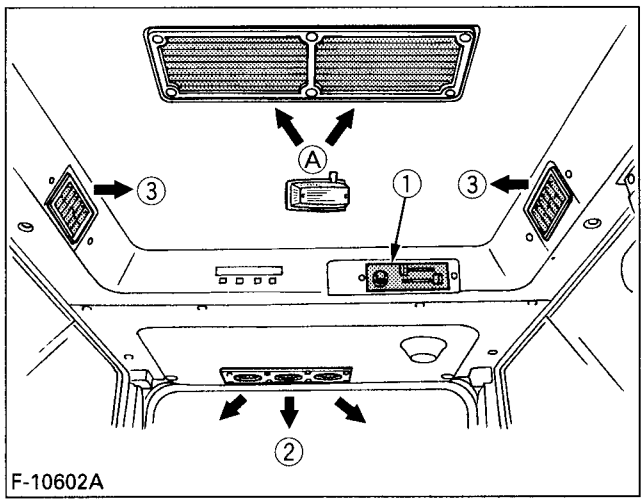
補 足

＊作業灯は“道路運送車両の保安基準”第42条(灯火の色等の制限)において，“走行中に使用しない灯火”とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

エアコン

■空気の流れ

キュービックボックス内の空気の流れは下図の通りです。
3カ所の吹出口の調節により，最適のコンディションが得られます。



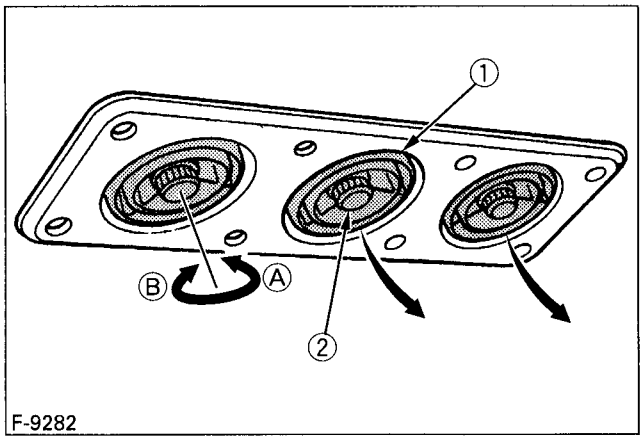
F-10602A

①パネルスイッチ　　Ⓐ内気循環導入口
②フロント吹出口
(フロントガラス・足元)
③サイド吹出口

■風向調整

◆フロント吹出口

1. 風の方向は，吹出し口により自由に調整できます。デフロスタ(フロントガラスのくもり止め)として使用する場合，吹出し口をフロントガラスの方向に向けてください。
2. 吹出口は，中央のツマミを回すことで吹出口の開閉ができます。

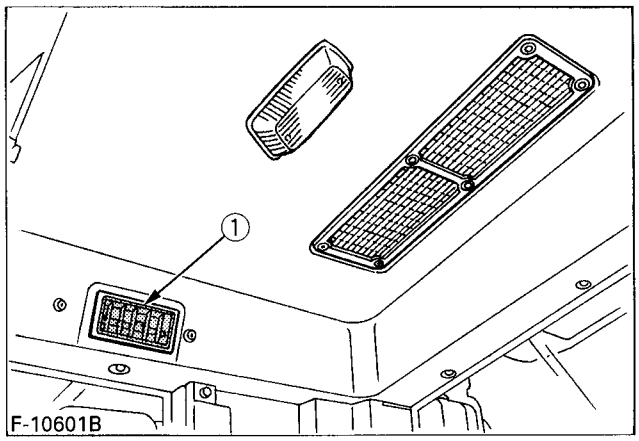


F-9282

①フロントグリル　　Ⓐ吹出口“開”
②ツマミ　　Ⓑ吹出口“閉”

◆サイド吹出口

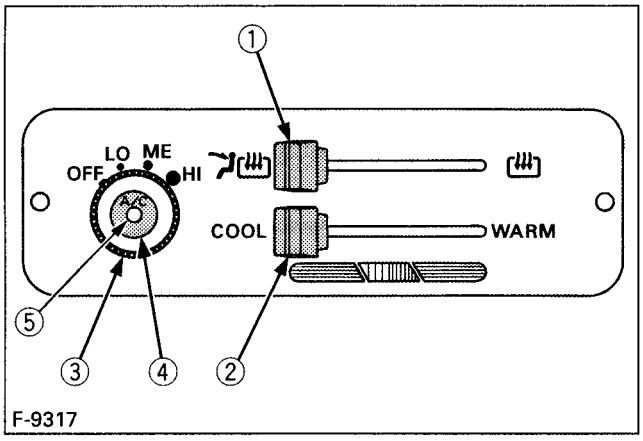
冷風の方向は，ルーバーの向きにより自由に調整できます。



F-10601B

①サイドグリル

■コントロールパネル



①モードレバー
②温度コントロールレバー
③ファンスイッチ
④エアコンスイッチ
⑤インジケータランプ

◆モードレバー

フロント吹出口及びサイド吹出口より風が出ます。

フロント吹出口より風が出ます。

◆温度コントロールレバー

温度を調節するためのレバーです。好みの位置にセットして適宜調節します。右に寄せると温風，左に寄せると冷風が出ます。

◆LO･ME･HIファンスイッチ

風量が３段階に切換えられます。**“HI”**は最も風量の多い位置です。

◆ A/C エアコンスイッチ

エアコンを使うときは，このスイッチを押して**“ON”**にします。**“ON”**のとき，インジケータランプが点灯します。

■取扱い操作方法

◆暖房

1. モードレバーを 又は にします。
2. ファンスイッチ(**LO・ME・HI**)と温度コントロールレバーを調整し，快適な温度にします。

補 足

＊夏期ヒータを使用しないときは，熱気で室内温度が上昇しないように，温度コントロールレバーを**COOL**(左端)に寄せてください。

◆冷房・除湿暖房

1. モードレバーを にします。
2. エアコンスイッチを押し**“ON”**にします。
3. ファンスイッチ(**LO・ME・HI**)を作動させます。
4. 温度コントロールレバーを**COOL**又は中間位置に調整し，快適な温度にします。

◆頭寒足熱

冷房・除湿暖房の運転状態で，温度コントロールレバーを中間位置で使用すると，顔が涼しく足元が暖かい（頭寒足熱）快適な状態が得られます。

◆デフロスト

フロントガラスの曇り及び凍結除去するときは，

1. フロント吹出口を開き，フロントガラスの方向に向けます。
2. モードレバーを にします。
3. ファンスイッチを**HI**，温度コントロールレバーを**WARM**(右端)にします。

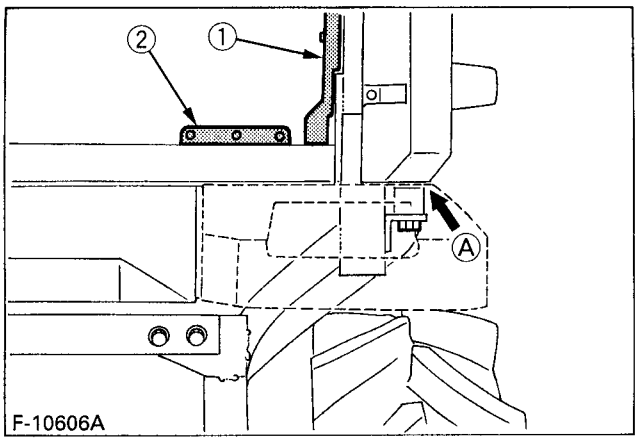
■ヒータ使用上の注意

1. 冬期は外気温に適した濃度の不凍液を使用してください。
   また，有効期限の切れた不凍液を使用しないでください。
2. 冬期において不凍液を使用しない場合は，運転終了時トラクタ本体から冷却水を排水してください。
   (冷却水の排水のしかたは，**“2年ごとの点検・整備”**の**“冷却水の交換”**の項を参照してください。)
3. ウォータホースは２シーズンごとに交換を受けてください。
4. 日常点検
   次のような異常を認めたときは速やかに修理を受けてください。
   (ヤケドなどの傷害事故やエンジンの焼付などの重大な故障につながります。)
   ＊ウォータホースの傷付き，ひびわれ，ふくらみ，
   ＊ウォータホースジョイント部の水漏れ
   ＊ウォータホースの保護ブッシュ及びグロメットの外れ，破損
   ＊本体取付けボルトの緩み，ブラケットの破損
5. ウォータホース及びヒータユニットに直接ふれないようにしてください。ヤケドなどの傷害事故につながります。

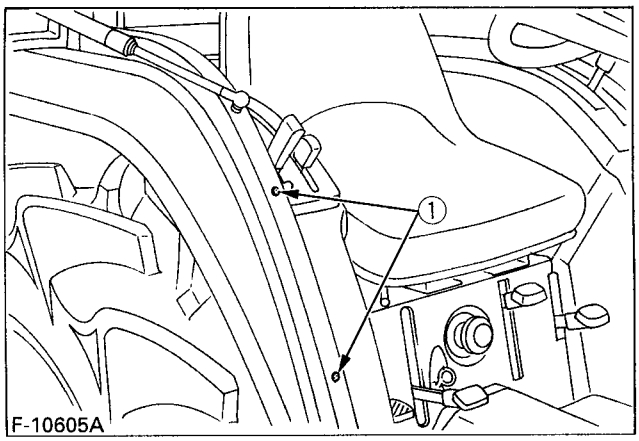
インプルメントの装着

■インプルメント用操作ボックスの組付け

右インナーカバーを外し，フェンダー上の穴からインプルメント用操作コードをキュービックボックス室内に導入してください。



①インナーカバー　Ⓐインプルメント操作コード
②ローダ及び，リヤ作業機用コントロールボックス取付け位置



①ローダ用操作ボックス取付け位置

トラクタの簡単な手入れと処置

注　意

＊給油及び点検整備するときは

❶トラクタを平たんな広い場所に置き

❷作業機を降ろし

❸駐車ブレーキをかけ

❹エンジンを止め

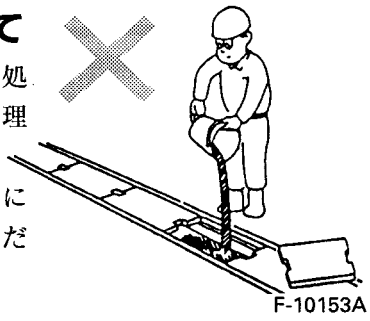
❺キーを抜き，安全を確認してから行なってください。

そうしないと傷害事故を引起すおそれがあります。

廃油処理について

＊抜取った廃油は廃油処理業者へ依頼し，処理してください。

＊廃油を溝や空地などに絶対に捨てないでください。



補　足　洗車時の注意

特に高圧洗車機でドア，ステップ等の接続部に集中的に水をかけますと，キュービックボックス室内に水が侵入するおそれがありますので十分注意をして洗車してください。

定期点検箇所一覧表〔専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは，購入先にご相談ください。〕

次の定期点検箇所に従って，定期点検を実施しましょう。

No.	項目＼時期		アワーメータ表示時間															それ以後	参照ページ
			50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	
1	内気フィルタの詰まり	清掃				○				○				○				○	200時間ごと	9
2	コンデンサの詰まり	清掃				○				○				○				○	200時間ごと	9
3	エアコンベルトの張り	調節				○				○				○				○	200時間ごと	9
4	ヒータ配管，ホース	点検																○	800時間ごと	9
5	エアコン配管，ホース	点検																○	800時間ごと	9
6	ウォッシャ液	補充																	必要に応じて	10
7	各部への注油	―																	必要に応じて	10
8	冷媒(ガス)量	点検																	必要に応じて	10

日常点検

注 意

＊火気厳禁
＊点検をするときは，必ず作業機を降ろしエンジンを停止してから行なってください。
＊燃料・オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊トラクタは常に清掃しておいてください。
バッテリ，配線，マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因になります。
＊運転中及び停止直後は，ラジエータの圧力キャップを絶対に開けないでください。熱湯が噴き出してヤケドをすることがあります。
＊エンジン周囲のカバー類を開けて点検・整備するときは，内部が十分に冷え，ヤケドのおそれがないことを確認してから行なってください。

1.前日の異常箇所

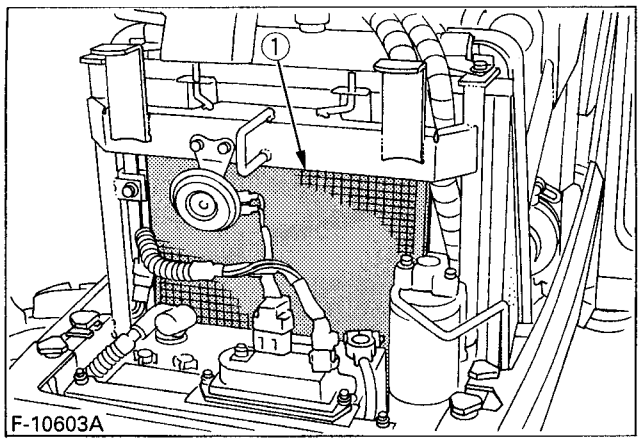
前日の作業中に異常を感じたところがあれば，使用前に支障がないか点検してください。

2.トラクタの回りを歩いて

1. ボルトやナットのゆるみ及び作業機取付けピンの脱落
2. 車体各部の変形や損傷
3. 油や水もれなど異常がないか，点検してください。

■防虫網の清掃（コンデンサ用）

エアコン仕様では，ラジエータと同様にコンデンサの前にも防虫網があります。防虫網を上に引き上げて掃除します。



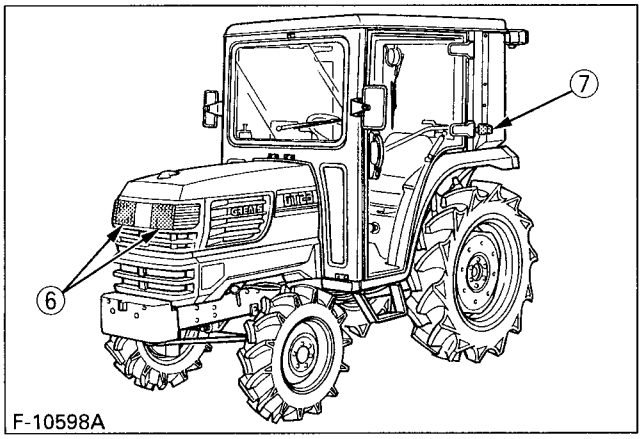
①防虫網

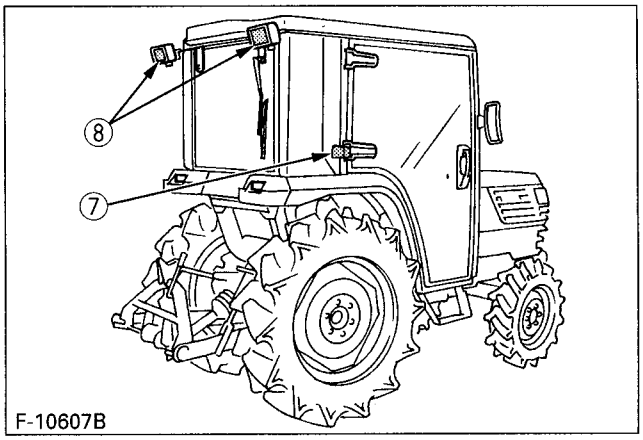
3.エンジンを始動して

■メータ・ランプ類の作動

下記メータ及びランプ類が正しく作動するか点検してください。

①燃料計
②水温計
③エンジン回転計
④ホーン
⑤イージーチェッカ
⑥ヘッドライト
⑦ウインカ
⑧作業灯（オプション）

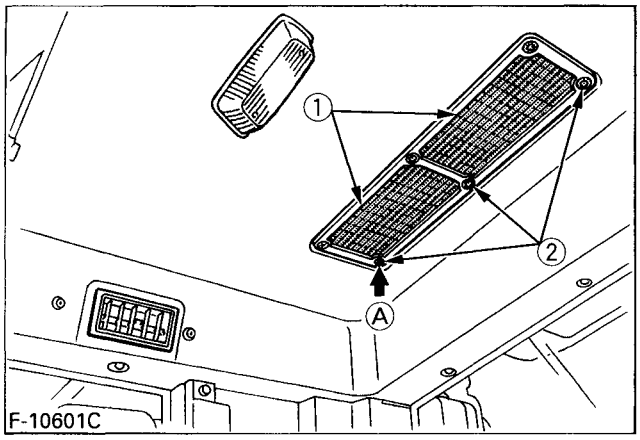




200時間ごとの点検・整備

■室内エアーフィルタの清掃

フィルタが目詰まりするとエアコンの効率が低下します。フィルタの網目を損傷させないように清掃をしてください。



①室内エアーフィルタ　　Ⓐ“押す”
②プッシュリベット

補　足

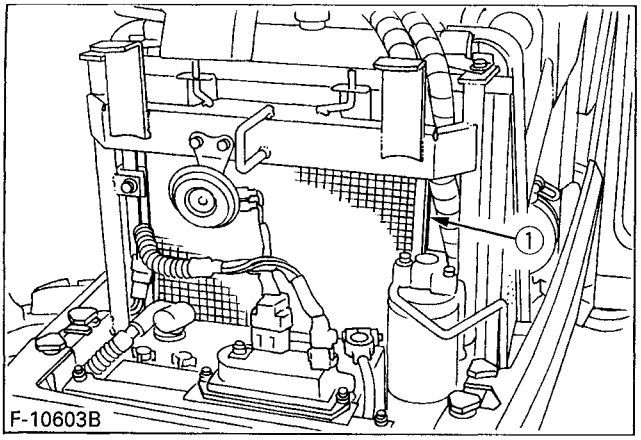
＊プッシュリベットの中央部を少し押すとリベットが外れます。

■エアコンコンデンサの詰まり

注　意

＊点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

コンデンサフィンにゴミが詰まっていればエアブロー又は水道水などで取除いてください。



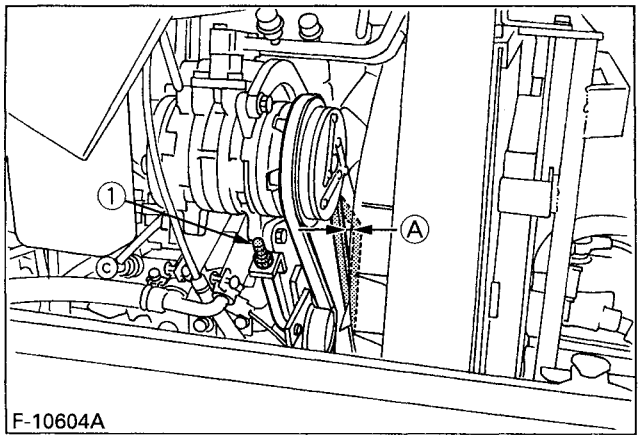
①コンデンサ

■エアコンベルトの張り

注　意

＊点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

プーリ間のベルトを指で押し点検します。10kgfで**“10～12㎜”**が適正です。



①調節ボルト　　Ⓐ“10～12㎜”

800時間ごとの点検・整備

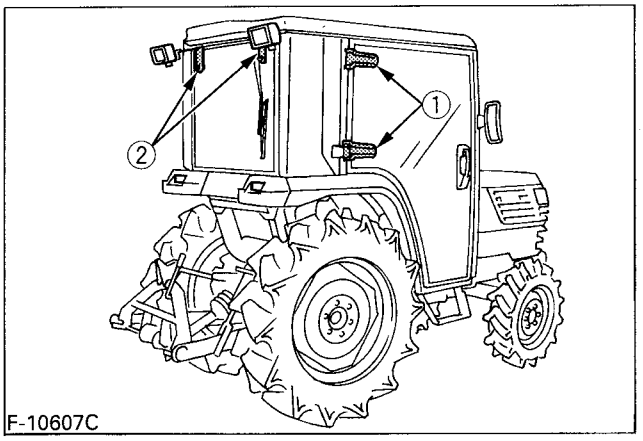
■ヒータ配管，ホースの点検

■エアコン配管，ホースの点検

各配管及びホースの損傷を点検してください。

必要に応じた点検・整備

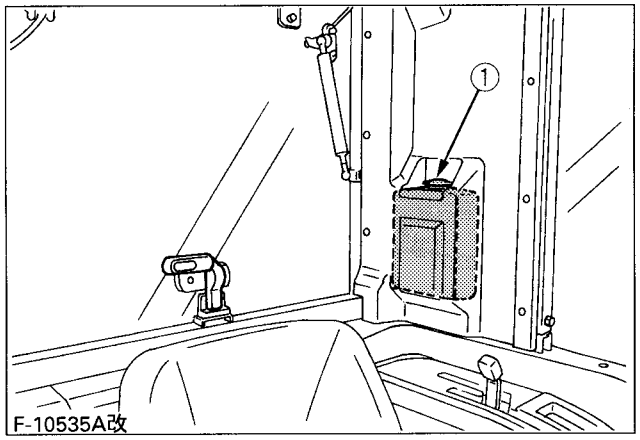
■オイルの注油



①ドアーヒンジ部
②リヤウインドヒンジ部

■ウォッシャ液の補充

自動車用ウォッシャ液を適量補充してください。



①ウォッシャタンク

重　要

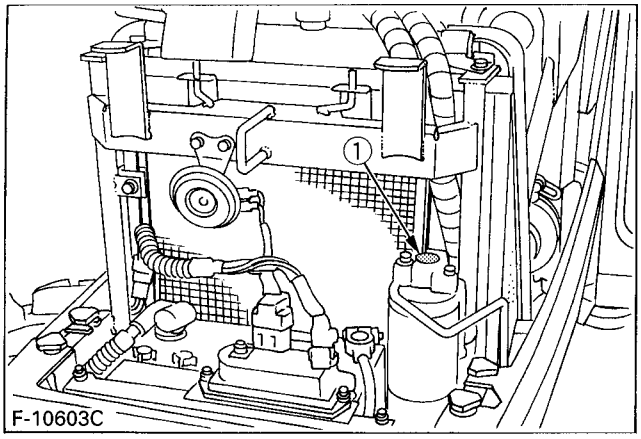
＊凍結を避けるため，清水のみの使用はしないでください。
＊空回しはポンプを損傷させる原因となりますので空運転をしないでください。
＊ウォッシャノズルの詰まりを防ぐために，ゴミが入らないようにしてください。

■冷媒(ガス)量の点検

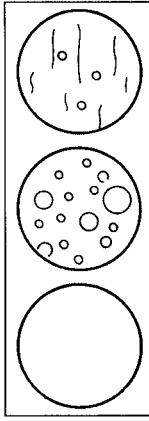
冷媒が不足するとエアコンの冷えが悪くなります。下記要領で点検し，冷媒が不足しているときは，購入先で点検及び充てんをしてもらってください。

◆点検方法

1. エアコンを以下の条件で運転します。
   - エンジン回転数　　：約1500 rpm
   - 温度コントロールレバー：最強冷位置(左端)
   - ファンスイッチ　　：最強風(HI)
   - エアコンスイッチ　　：ON
2. サイトグラスにより，冷凍サイクルを流れている冷媒の状態を確認する。



①サイトグラス



適正…流れの中にほとんど気泡が含まれていない。

不足…流れの中に気泡が含まれている。
(気泡が連続的に通過)

なし…無色透明

C219F037

付　表

主要諸元

■トラクタの主要諸元：キュービックボックス(ドア・エアコン付き)

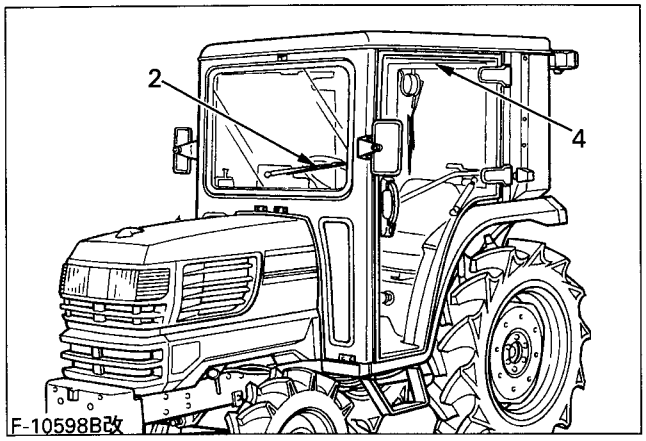
型式名			クボタGT21	クボタGT21F	クボタGT23	クボタGT23F
駆動方式			四輪駆動			
機体寸法	全長 mm		2805		2855	
	全幅 mm		1150〔1185〕		1185	
	全高 mm		1900		1900〔1925〕	
	軸距 mm		1450			
	輪距	前輪 mm	950			
		後輪 mm	915，1036〔950，1070〕		950，1070	
	最低地上高 mm		320		320〔330〕	
質量（重量） kg			1010〔1030〕	1050〔1070〕	1030〔1040〕	1070〔1080〕
エンジン	機関型式		クボタD1403-GT		クボタD1463-L-GT	
	形式		水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル			
	総排気量 L		1.393		1.463	
	出力／回転速度 kW(PS)/rpm		15.4(21)/2600		16.9(23)/2500	
	使用燃料		ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量 L		28			
	始動方式		セルモータ式（スーパーグロープラグ付）			
	バッテリ		75D26L　MF（メンテナンスフリー）			
タイヤ	前輪		6-14			
	後輪		8.3-24〔9.5-22〕		9.5-22〔9.5-24〕	
車体	クラッチ方式		乾式単板（シングル）			
	制動装置		湿式ディスクブレーキ			
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング又はマニュアルステアリング）			
	差動方式		２ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			
	変速方式		コンスタントメッシュ	グライドシフト	コンスタントメッシュ	グライドシフト
変速段数 (段)			前進12，後進4	前･後進HST無段	前進12，後進4	前･後進HST無段
走行速度 km/h		前進	0.45～14.86	0～13.90	0.43～14.86〔0.43～14.81〕	0～13.41〔0～14.11〕
		後進	0.64～10.00	0～9.94	0.61～9.97〔0.61～9.94〕	0～9.56〔0～10.06〕
最小旋回半径（ブレーキ使用時） m			1.85			
PTO	回転速度 rpm	正転	554，802，1182	490，709，1103	533，771，1136〔505，731，1136〕	471，682，1061
		逆転	547(791，1166)	518(749，1166)	526(760，1121)〔498(720，1121)〕	498(720，1121)
	軸寸法 mm		JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール			
	装置方式		３点リンク　JIS　1形			

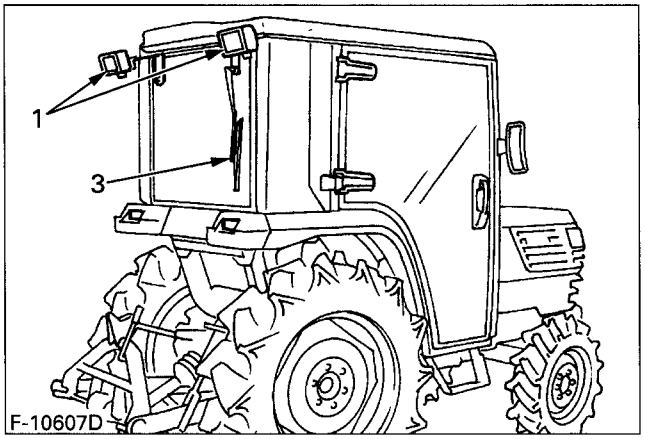
(注)〔　〕はJ(大径タイヤ)仕様を示す。

型式名			クボタGT26	クボタGT26F	クボタGT30	クボタGT30F
駆動方式			四輪駆動			
機体寸法	全長 mm		2860			
	全幅 mm		1185〔1320〕		1320	
	全高 mm		1925〔1960〕		1960〔1985〕	
	軸距 mm		1500			
	輪距	前輪 mm	980〔1050〕		1050	
		後輪 mm	950，1070〔1050〕		1050〔1050，1148，1168，1266〕	
	最低地上高 mm		330〔340〕		340〔370〕	
質量（重量） kg			1040〔1080〕	1080〔1120〕	1080〔1110〕	1120〔1150〕
エンジン	機関型式		クボタD1503-L-GT		クボタD1503-GT	
	形式		水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル			
	総排気量 L		1.499			
	出力／回転速度 kW(PS)/rpm		19.1 (26) / 2600		22.1 (30) / 2700	
	使用燃料		ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量 L		28			
	始動方式		セルモータ式（スーパーグロープラグ付）			
	バッテリ		75D26L　MF（メンテナンスフリー）			
タイヤ	前輪		6-14〔7-14〕		7-14〔7-16〕	
	後輪		9.5-24〔11.2-24〕		11.2-24〔11.2-26〕	
車体	クラッチ方式		乾式単板（シングル）			
	制動装置		湿式ディスクブレーキ			
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
	差動方式		２ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			
	変速方式		コンスタントメッシュ	グライドシフト	コンスタントメッシュ	グライドシフト
変速段数 (段)			前進12，後進4	前･後進HST無段	前進12，後進4	前･後進HST無段
走行速度 km/h		前進	0.44～14.81〔0.47～14.91〕	0～14.63〔0～14.99〕	0.49～14.04〔0.52～14.69〕	0～14.11〔0～14.76〕
		後進	0.64～9.97〔0.68～10.03〕	0～10.46〔0～10.72〕	0.71～9.47〔0.74～9.91〕	0～10.11〔0～10.58〕
最小旋回半径（ブレーキ使用時） m			2.00		2.10	
PTO	回転速度 rpm	正転	525，760，1182	490，709，1103	545，789，1227	509，736，1145
		逆転	518 (749，1166)		538 (778，1210)	
	軸寸法 mm		JIS 35			
昇降作業装置	制御方式		ポジションコントロール			
	装置方式		３点リンク　JIS　１形			

(注)〔 〕はJ(大径タイヤ)仕様を示す。

主な消耗部品一覧表





図番	品　　名	品　番
1	デンキュウ（作業灯）	99601-9106-0
2	ワイパブレード（前）	99233-8345-2
3	ワイパブレード（後）	99233-8345-2
4	デンキュウ（ルームランプ）	52241-1274-0

アタッチメント一覧表

品　番	品　名	適用機種	用途・仕様	併用アタッチメント
99431-9100-0	作業灯アッシ	GT21-30Q3	12V27W	

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011)662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048)862-1121　〒338-0832　さいたま市西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(072)241-8506　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
機械福岡事務所：電(092)606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号

クボタ機械サービス株式会社

本社営業技術部：電(072)241-8092　〒590-0823　堺市石津北町64番地
北海道営業技術推進部：電(011)662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
秋田営業技術推進部：電(018)845-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162　〒981-1221　名取市田高字原182番地の１
東京営業技術推進部：電(048)862-1588　〒338-0832　さいたま市西堀５丁目２番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263　〒950-0992　新潟市上所上１丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121　〒924-0038　松任市下柏野町956-１
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111　〒491-0031　一宮市観音町１番地の１
大阪営業技術推進部：電(072)241-8551　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
米子営業技術推進部：電(0859)33-5011　〒683-0804　米子市米原７丁目１番１号
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市宍甘275番地
高松営業技術推進部：電(087)874-5091　〒769-0102　香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３
福岡営業技術推進部：電(092)606-3673　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１

株式会社クボタアグリ東日本

東北系統推進部：電(018)845-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
関東・甲信越系統推進部：電(048)862-1124　〒338-0832　さいたま市西堀５丁目２番36号

株式会社クボタアグリ西日本

中部・近畿系統推進部：電(072)241-8550　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
中四国系統推進部：電(087)874-5091　〒769-0102　香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタアグリ九州

九州系統事業推進部：電(092)606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号

AF. ☆. 4－4. 1. K　品番　T0430-1940-2

Kubota